

2021年度 夏学期 ショートビジットプログラム ＜オンライン留学版＞



留学推進キャラクター
トビタくん



<重要> 2021年度夏学期ショートビジットの取り扱い

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、現地渡航が困難な状況であり、仮に渡航できたとしても十分な安全確保ができないと判断。

(2021年3月31日現在、外務省が発出する海外安全情報において、全世界が感染症危険レベル2 <不要不急の渡航は止めてください>、およびレベル3 <渡航は止めてください(渡航中止勧告)>となっている)

→ 現地渡航プログラムは全て中止とします。

- ・協定校がオンラインにてプログラムを提供する場合、受講すればショートビジットプログラムに準じて単位認定を行います。

※今後、危険レベルが1以下に下がったとしても、ショートビジットプログラムとしてはオンライン留学のみ単位認定を行います。現地渡航する場合(危険レベル・感染症危険レベルともに1以下の地域に限る)、単位認定無しの私的な短期留学という扱いになります。



今回の説明会は、オンラインコース受講を前提とした内容です。
(通常のショートビジットプログラムとは異なります)



本学の留学制度について

	派遣留学 (交換留学)	ショートビジット (短期海外留学)	休学しての留学	
			休学留学	自由留学
内容	大学間交流協定に基づき協定校への留学	夏学期または冬学期に、大学指定のプログラム（大学間交流協定校で実施されるもの）へ参加	①大学間交流協定校に大学を通さずに個人的に留学 ②本学が十分な教育内容とレベルを有すると認めた外国の大学等への留学	個人的に探した語学学校、大学等への留学や海外研修等
学年	第2年次 春学期終了後	全学年 (博士後期課程を除く)	第3年次以上	全学年
単位認定	有り	有り（必須） 2単位 忘れずに履修登録すること	有り ※留学前に教務課に申請し、認められた場合（ただし、大学院生は不可）	無し／不可
期間	3か月以上 1年未満	2か月未満	原則として6か月以上 1年未満	最長3年
授業料	本学へ納入、 留学先は免除	すべて本人負担	本学の授業料免除、 留学先へ納入	本学の授業料免除、 留学先へ納入
学年進行	あり（修学年限、在 学年限に通算する）	—	なし（留年）	なし（留年）

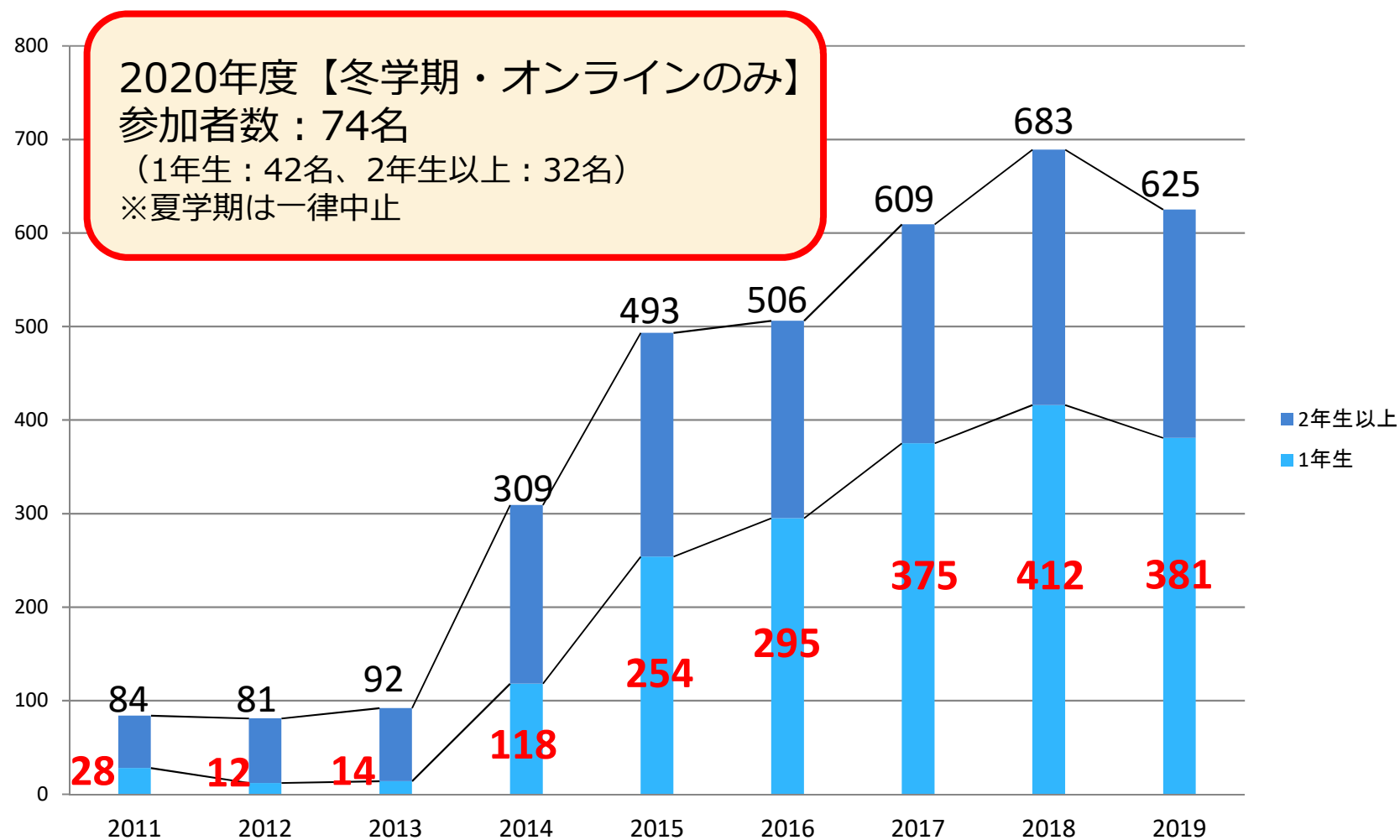


本プログラムと個人留学の違い

	ショートビジット (オンライン留学の場合)	個人留学
申請方法	・ 本学への申請 ・ 留学先への申請	留学先に申請
履修登録	「短期海外留学（〇〇大学）」	なし
単位認定	あり（2単位） ※臨地学修科目／世界教養科目	なし
留学前・後教育	あり (CEFR診断、留学体験報告書の作成)	なし
対象	本学協定校のプログラム (情報収集が容易。質の担保。)	各自で探してきたプログラム



短期海外留学（ショートビジット） 参加者数



ショートビジット（オンライン留学）の目的

（2020年度冬学期の留学体験報告から）



アイルランド国立大学コーク校：
Language Centerと図書館

語学力の向上

言語学習に対するモチベーション向上

長期留学に行くための前準備

現地の文化・社会を知る



プログラム内容

- 各国語コース（英語以外）
- 英語コース
- 総合型コース（英語で専門科目を学ぶもの）

ほとんどのプログラムが参加要件
（TOEFL、IELTSなど）の設定は無し。

総合型コースでは、英語力の要件あり。
（設定がない場合もある）

プログラムリストを確認すること！



プログラム参加費用

- 授業料等の参加費用はすべて自己負担
- 加えて通信費がかかることに注意！
(ネット環境は各自が準備すること。
Wi-Fiの利用をお勧めします)

<オンライン留学のメリット>

渡航費、滞在費は不要 → 現地渡航プログラムに比べて、
経済的な負担は少ない



<注意>

- ◆ オンライン留学の場合、JASSO奨学金はありません。
- ◆ テキストの購入が必要な場合は、日本で購入できるものかどうかを早めに確認すること。海外から取り寄せになる場合、配送に数週間かかることもあります。



オンライン受講の注意点（１）

時差

プログラムの開講時間は、必ずしも日本時間の日中にあたるものばかりではありません。自身のライフスタイルと合致する時間帯に授業が行われるか事前に確認した上で、受講を決めてください。

※プログラムリストには日本時間と現地時間が併記されていますが、サマータイムなども考慮して、必ず各自で確認してください。

最小催行人数

最低○名の参加が必要、と設定されているプログラムでは、それを満たす申込みがなかった場合、**直前にプログラムの開講が中止になる場合があります。**申込みの前に、協定校のウェブサイト等で、中止になった場合の対応（授業料の返金、他のコースへの振替え等）を確認しておくことをお勧めします。



オンライン受講の注意点（２）

授業の形態

リアルタイムで実施される授業のほか、事前に撮影された動画を視聴するなどのオンデマンド型授業が提供されるプログラムもあります。申込みの前に、必ず協定校のウェブサイトを詳しく読み、授業内容を確認してください。



通信機器

授業で使用するオンラインツールは、Zoom、Microsoft Teamsなど、協定校によって異なります。必ず事前にインストールして、マイク、カメラ等の設定も確認し、受講の環境を整えておきましょう。また、できる限りスマートフォンではなく、パソコンでの受講をお勧めします。



参加手続きの流れ

- ①プログラムリストの確認
- ②本学への応募申請
- ③留学先への応募申請、支払い等
- ④履修登録
- ⑤CEFR診断（留学前）
- ⑥オンライン留学届の提出



オンラインコースを受講

- ⑦CEFR診断（留学後）
- ⑧留学体験報告書の作成
- ⑨オンライン留学終了届、修了書・成績証明書の提出

※書類の不備は成績評価に影響します。F（不合格）が付く場合もあります。
（SVの成績が付くのは、翌学期中になります。）



①プログラムリストの確認

<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>
トップページ> 在学生の方へ> 留学案内> ショートビジット> プログラムリスト
> **2021年度夏学期ショートビジットプログラムリスト (オンライン)**
を確認して、参加するプログラムを決める。

大学案内 - 学部・大学院 - 組織・附属機関 - 学外との連携 - 入試情報

ショートビジット

ショートビジットプログラム（短期海外留学プログラム）は、夏学期と冬学期に、本学が指定する交流協定校サマープログラム/ウィンタープログラムから希望先を選んで留学をする制度です。

プログラムリスト

2018年度冬学期ショートビジットプログラムリスト [目](#) [PDF](#) (9月28日更新)
[2018.9.28更新] 7 ジャドプル大学
[2018.9.27更新] 47 デューク大学
[2018.9.26更新] 34 マラガ大学
[2018.9.25更新] 57 リオ・デ・ジャネイロ州立大学(追加)
[2018.9.21更新] 24 アリー・バーバー・インターナショナル・センター
[2018.9.20更新] 2 淡江大学
[2018.9.19更新] 52 ブルネイ・ダルサラーム大学、51 国立台湾大学(削除)、29 ギーセン大学(削除)

情報は随時更新されます。常に最新の情報を確認してください。

参加人数に定員が設定されているものがあります。早めの申し込みを推奨します。

本学で学ぶ留学生の方 →

時差に注意！！
身体的負担を十分に考慮して受講コースを決めてください。

派遣留学 →

ショートビジット -



②本学への応募申請

オンラインで登録を行う。

- ・オンライン登録サイト (<https://business.form-mailer.jp/lp/fc89cda1113632>) にアクセスし、必要な情報を入力する。



＜申請期限＞ 2021年6月30日（水）まで

→留学先への申請締切が、これ以前に設定されているプログラムもあります
(プログラムリストを確認！)



応募申請はこちらから

1. 基本情報

学籍番号

名前(漢字)

漢字表記が無い場合は、ひらがなで入力

名前(カタカナ)



- ・ 2つ以上のプログラムに参加することは可能です。その場合、参加するプログラムそれぞれについて登録してください。
- ・ オンラインコースの場合は、「3. 奨学金申請」の項目は**回答不要**です。(JASSO奨学金は、現地へ渡航するプログラムのみが対象です。)



Tokyo University of Foreign Studies

③留学先への応募申請、支払い等

- 各自で、参加プログラムを決めたらすぐに行う。
※オンライン登録手続き（本学）と 留学先の申込み手続き は別物！
- 先着順のプログラムが多いため、申請は早めに。
※授業料の支払期限、方法などは留学先によって様々。
- 申請締切日が、本学への応募申請の締切日（6月30日）より早く設定されている場合もあるので、要注意。
- 留学支援共同利用センターで申請を取りまとめるプログラムもある。詳細はプログラムリストを確認すること。
※オンライン登録の期限（6月30日）より前に、メールで連絡が必要な場合もありますので、ご注意ください。
- 支払い手続きの前に、必ずキャンセル規定（refund policy 等）を確認すること。



【参考】海外への支払方法について

授業料の支払時期や方法は、各協定校の指示に従うことになりますが、一般的には以下の方法があります。それぞれの特徴を理解した上で、支払い方法を選択するようにしてください。

①クレジットカード払い (Credit Card Payment)

- ・手続きが簡単で、支払手数料は無料の場合が多い。
- ・VisaかMasterカードは多くの支払先で利用可能だが、JCBやAmerican Expressは受け付けられない場合がある。
- ・利用限度額を確認すること。
- ・海外のウェブサイトで使用するセキュリティロックがかかることがある（クレジット会社に連絡すれば解除可能）。

②銀行送金 (Bank Transfer)

- ・銀行の窓口またはネットバンキングを利用する。
- ・数千円の送金手数料がかかる。（銀行や送金金額によって異なる）
- ・留学先の口座に着金するまでに数週間要する場合がある。

③グローバル決済代行サービス

- ・Western Union、Transferwise、Moneygram、Flywireなど
- ・インターネットを介した国際送金サービスに登録し、サービス会社の口座に入金することで、海外の受取人の口座に送金ができるというもの。
- ・手数料は国内の振込手数料程度、着金までの日数はほとんどかからない。
- ・留学先機関がこのサービスを利用していることが必要。



④履修登録・単位認定（学部生）

- **7月12日～14日**の履修登録期間に、**自身で履修登録**

科目名：短期海外留学（〇〇大学）

※履修コードは、**上記の履修登録期間までにプログラムリストに記載されます。**（入学年度でコードが違う場合もあるので注意）

- 臨地学修科目／世界教養科目 2単位として卒業所要単位に含まれる。一般の科目と同様の成績評価がされるが、**GPA算出の対象外**となる。成績はA、B、C、Fのいずれかになる。
- 成績評価について
単位認定にあたっては、以下が必要となります。

- CEFR診断（留学前後）
- プログラムへの参加（修了書／成績証明書を提出すること）
- 留学体験報告書の作成



④履修登録・単位認定（大学院生）

- 履修登録は、**不要**。
オンライン登録に基づき、事務局で登録手続きを行います。
- 単位認定にあたっては、以下が必要となります。

- CEFR診断（留学前後）
- プログラムへの参加（修了書／成績証明書を提出すること）
- 留学体験報告書の提出



⑤CEFR診断（留学前）

プログラム開始の
3週間前までに！

- **TUFS Moodle** (<https://mdle2.tufs.ac.jp/moodle/>) にて行う
- 「留学に関するコース」→「留学前・留学後教育プログラム」→「CEFR2021」→「ショートビジット留学者」→「**留学前 技能別 CEFR診断：ショートビジット（夏学期）**」

ショートビジット留学者

ショートビジットで留学する学生は、留学前、留学後にこのCEFR診断を行う、冬学期に参加する方は「冬学期用」で実施してください。

- 留学前 技能別CEFR診断： ショートビジット（夏学期）
- 留学後 技能別CEFR診断： ショートビジット（夏学期）
- 留学前 技能別CEFR診断： ショートビジット（冬学期）
- 留学後 技能別CEFR診断： ショートビジット（冬学期）

・ **留学前／留学後、夏学期／冬学期を間違えないこと！**

・ **必ずコース登録（「コース管理」→「このコースに私を登録する」）を行ってから、CEFR診断に取り組んでください。**



⑤オンライン留学届の提出

プログラム開始の
3週間前までに！

大学HPショートビジットのページ

(<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>) から
様式をダウンロードしてください。

提出先：留学支援共同利用センター

(留学生日本語教育センター 1 階／ryugakushien@tufs.ac.jp)

提出方法：

- ①窓口で直接提出
- ②Eメールに添付 (PDF／Excel)



⑥CEFR診断（留学後）

プログラム終了後
3週間以内に！

- ・ CEFR診断（留学前）と同様に、TUFS Moodleにて行う
- ・ 「留学に関するコース」→「留学前・留学後教育プログラム」→「CEFR2021」→「ショートビジット留学者」→「**留学後 技能別 CEFR診断：ショートビジット（夏学期）**」

ショートビジット留学者

ショートビジットで留学する学生は、留学前、留学後にこのCEFR診断を行う。冬学期に参加する方は「冬学期用」で実施してください。

- 留学前 技能別CEFR診断： ショートビジット（夏学期）
- 留学後 技能別CEFR診断： ショートビジット（夏学期）
- 留学前 技能別CEFR診断： ショートビジット（冬学期）
- 留学後 技能別CEFR診断： ショートビジット（冬学期）

・ **留学前／留学後、夏学期／冬学期を間違えないこと！**



⑥留学体験報告書の作成

- ・オンラインサイトにて登録する。

<https://business.form-mailer.jp/fms/43b25348128351>

※必ず「オンライン留学用」のサイトから入力すること！
通常のショートビジット用のフォームとは異なります。



留学体験報告書(ショートビジット用)オンライン留学用

オンラインコースを受講した方向けのフォームです。
プログラム終了後3週間以内に報告書の入力をしてください。
本報告書は今後留学を検討する人にとって非常に参考になる情報となりますので、できるだけ正確かつ丁寧な記述をお願いします。
なお、氏名など個人が特定できる情報は公開されません。
※文字化けしてしまうため、入力の際は環境依存文字は使用しないでください。

学籍番号 必須

名前 必須

姓 名

参加年度 必須

選択してください ▼

参加学期 必須

プログラム終了後
3週間以内に！

- ・ 氏名、学籍番号は必ず入力すること。
- ・ 後日、閲覧用サイトに掲載されますが、上記の個人情報とは公開されません。



⑥オンライン留学終了届、 修了書・成績証明書の提出

<オンライン留学終了届>

大学HPショートビジットのページ

(<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>)

から、様式をダウンロードしてください。

<修了書・成績証明書>

留学先から入手した修了書、および成績証明書（あれば）の
コピーを提出してください。



プログラム終了後
3週間以内に！

提出先：留学支援共同利用センター

（留学生日本語教育センター棟 1 階／ryugakushien@tufs.ac.jp）

提出方法：①窓口で直接提出

②Eメールに添付（PDF／Excel）



！ 注意 ！



- ✓ プログラムリストは順次アップデートされます。申請の際は、**最新版のリスト**をウェブサイトで確認してください。
- ✓ 費用の支払い・申請方法は、留学先により異なります。一部を除き、**留学先大学への申込みは、各自で行ってください。**
- ✓ 最小催行人数が設定されているコースは、**応募状況により実施されない可能性があります。**
- ✓ 本学への応募申請（オンライン登録）後、**留学先を変更／キャンセルする場合は、速やかに留学支援共同利用センターに連絡してください。**
- ✓ 大学からの連絡は、オンライン登録で入力した**PCメールアドレス**に届きますので、日常的に使用しているアドレスを登録してください。
- ✓ 留学先への問い合わせ等に、**携帯電話のキャリアメールを使うのは止めましょう。**（@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp、@i.softbank.jpなど）留学先からの返信メールが受信できないことがあります。



4 月中に手続きが必要なプログラム

① アレキサンドリア大学 アラビア語プログラム（3週間）

プログラムリストの番号：10【各国語コース】

日程：2021年8月8日～8月26日

受講希望者は**4月25日（日）までに**留学支援共同利用センターにメールで連絡すること

※最小催行人数は4名です。申込み人数がそれに満たない場合、プログラムは中止となります。

② ミュンヘン大学 オンライン・ドイツ語コース（4週間）

プログラムリストの番号：16【各国語コース】

日程：2021年8月4日～8月27日

受講希望者は**4月25日（日）までに**留学支援共同利用センターにメールで連絡すること

③ 上海外国語大学 中国文化サマープログラム（2週間）（使用言語：英語）

プログラムリストの番号：40【総合型コース】

日程：2021年8月9日～8月20日

受講希望者は**4月20日（火）までに**留学支援共同利用センターにメールで連絡すること

※参加人数の上限は2名で、学内選考の上、授業料が免除されます。



留学体験報告（ショートビジット）の 閲覧サイトについて

http://tobita.tufs.ac.jp/study_abroad_report_sv.aspx

2020年度冬学期のオンライン留学体験記が見られます！
（2021年度夏学期にはコースの設定がない協定校もあります）



留学体験報告

派遣留学体験報告書

ショートビジットプログラム体験報告書



Q ショートビジットプログラム体験報告書検索

留学年度

2020年度

参加学期

冬学期

留学先国

留学先大学

フリーワード

☒ オンライン留学の報告書を検索する場合はチェック

検索

リセット

オンライン留学の報告
書を検索するにはここ
をチェック！

オンライン留学体験談より…

少人数のクラスだったので、普段の講義に比べて話す機会が増え、非常にためになった。

現地時間に合わせて授業が行われるため、眠気との戦いだった。

オンラインであっても、現地の先生から教えてもらえる経験は大切であり、貴重なもの。

先生のネット回線が不安定で授業に支障をきたすこともあった。技術的な問題をできる限り減らすためにも、自分の通信環境は万全にしておくべき。

海外に行って勉強するよりも気楽に参加できるのは利点だと思う。費用も授業料だけで済むのはオンラインならでは。

メリット/デメリットを理解の上、**新しい「留学」の形**としてオンラインコースの受講をぜひご検討ください！





＜問い合わせ先＞

留学支援共同利用センター

留学生日本語教育センター棟 1F

メールアドレス：ryugakushien@tufs.ac.jp

電話番号：042-330-5113

